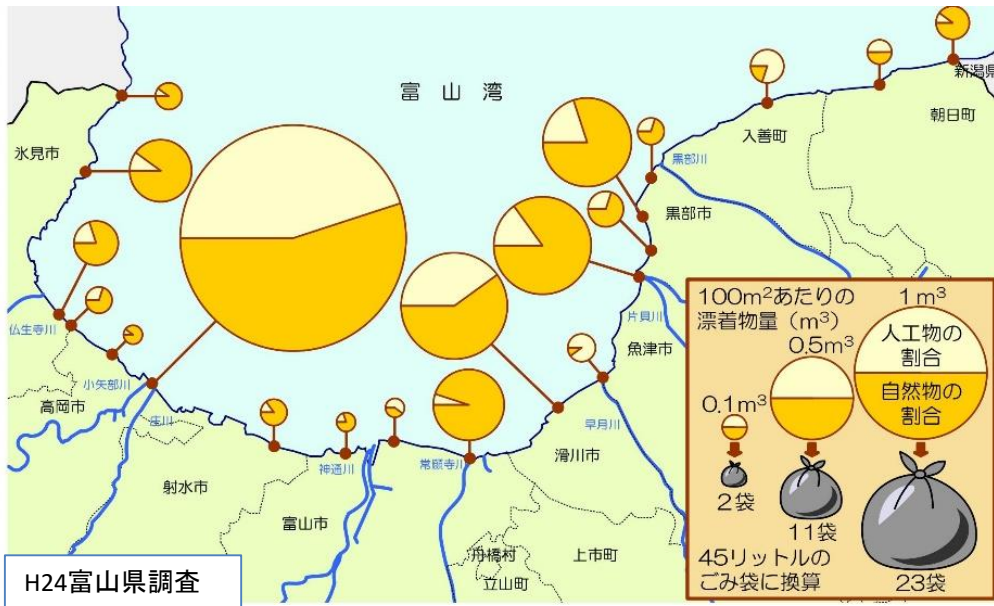


# 海岸漂着物の現状

富山県の海岸には、ほぼ全域にわたってごみが漂着しています。漂着物には、ペットボトル、プラスチック、発泡スチロールなどの人工物や、ヨシ・アシ類、流木、刈草などの自然物が多く見られます。

## 富山県の海岸に漂着しているごみの量は？



### 人工物



ペットボトル、発泡スチロール、苗木ポットなど

### 自然物

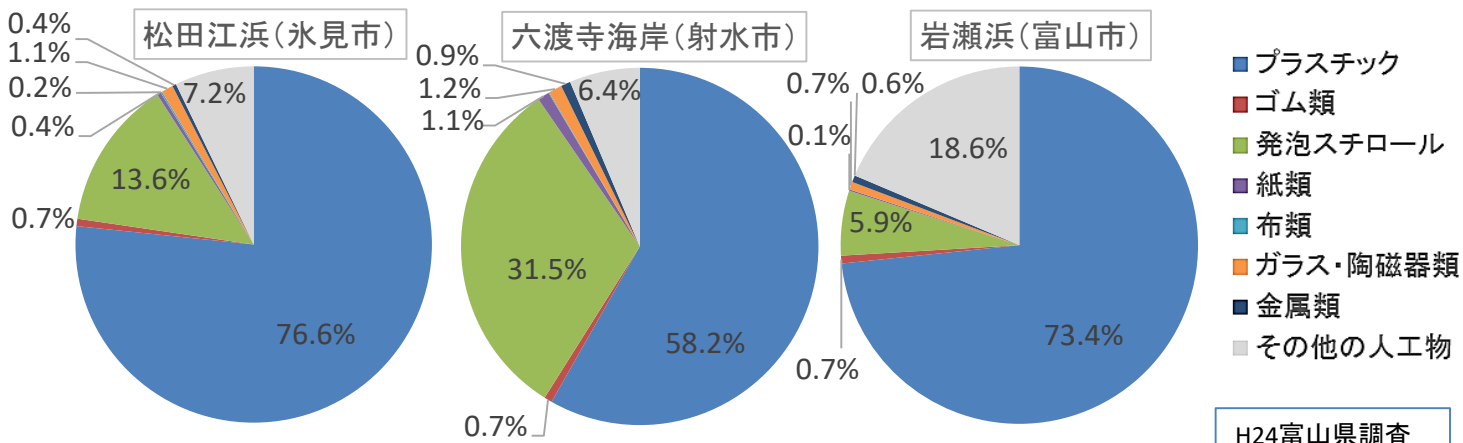


海岸一面に広がるアシ類

調査したすべての海岸で人工物や自然物の漂着ごみが流れついていました。最も多い海岸（射水市六渡寺海岸）では、100m<sup>2</sup>あたりに45リットルのゴミ袋で53袋分もの漂着ごみがありました。

## 人工物の漂着ごみで多いものは？

### 県内3海岸における人工物の漂着ごみの割合(個数)



人工物の漂着ごみの中ではプラスチックが一番多く、約6割以上を占めています。プラスチックは太陽からの紫外線や波により細かく砕けることで、マイクロプラスチックの発生につながります。